


# 数千km先にある 患部に触れる。

この技術が当たり前になった未来を想像してみませんか？それは、都市部から離れた地域に暮らしていても、等しく高度な医療を受けられる未来。手術支援ロボットと通信技術が進歩することで、熟練の医師が患部の3D映像を見ながら操作し、数千km離れたところにいるロボットがその動きに忠実にアームを動かす、という手術が可能になるのです。藤田医科大学は、医療格差を感じさせない、誰もが安心できる社会づくりに貢献したいという思いから、質の高い遠隔手術を実現する「hinotori™」や、それに続く先端ロボット・新しい術式の開発を進めています。

その研究は、  
未来を始めている。

救える力を、創り出す。  
 藤田医科大学



藤田医科大学医学部

先端ロボット・内視鏡手術学

